



# 第99期 業務報告書

自 2023年4月 1 日  
至 2024年3月31日



まちしんくん



この街の未来をひらく

北おおさか信用金庫



# 『北おおさか』らしさ に磨きをかけながら お客さまからより信頼され選ばれる信用金庫を目指します。

## ごあいさつ



理事長  
須戸 裕治

地域の皆さまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。  
平素は北おおさか信用金庫に格別のお引き立てにあざり厚く御礼申し上げます。ここに、第99期の業務報告をお知らせする運びとなりました。

これもひとえにお客さまのご愛顧によるものと感謝いたしますとともに、一言ご挨拶申し上げます。

さて、2023年度を振り返りますと、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置付けが5類に移行したことから、景気の自律的な循環を制約してきた要因が改善され、徐々に経済社会活動の正常化が進行、また、インバウンド需要等、人の流れはコロナ前の水準に戻りつつあります。しかしながら、ウクライナ・東中情勢の緊迫化や中国の過剰債務問題の顕在化等、国際情勢は不安定さを強めており、景気の下振れリスクは依然として抱えたままになっております。国内では、物価高・原材料価格の高騰は続いているが、物価転嫁にも限界があり、中小企業を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いております。また、金融指標においては、円安による日本株の割安感等を背景に日経平均株価が上昇する中、2024年3月19日に日本銀行が金融政策決定会合でマイナス金利政策の解除を決定、今後の経済活動に及ぼす影響が注目されます。

こうした中、昨年度は『きたしん3ヵ年計画～総合金融サービスによるメンバーシップバンキングを目指して～』の最終年度として、「地域・お客さまにとって役立つ金融機関」であるために事業者の皆さまに対する資金繰り支援や個人のお客さまに対するライフスタイルに応じた提案など「お客さま一人ひとりに合った金融サービスの提供」に加え、マッチング・事業承継・M&Aをはじめとする「本業支援」など、地域支援活動に取り組んでまいりました。また、地域社会の一員として、2019年度に策定された『SDGs宣言』と『SDGs基本方針』に基づき、地域社会の発展及び豊かな地域社会の実現に向け、地域金融機関としての使命を果たしてまいりました。

そして、2024年度は新たに策定した『きたしん第4次中期経営計画』のスタート年度となります。人口減少や少子高齢化の進行により、消費低迷や人手不足等の構造的問題が深刻化する中、信用金庫は地域の中小企業に対し、適切な金融支援に引き続き取り組むとともに、経営改善・事業再生支援等や、地域社会が抱える課題の解決を図ることが求められています。また、デジタル技術の活用による新たなサービスの提供や、業務の効率化、マネーローンクリーニング対策や、サイバーセキュリティー対策の一層の強化等による経営管理態勢の充実をはかることも重要であります。このような金融サービスにおける変化に対応し、持続可能な社会への貢献と地域経済の成長に取り組み施策として、金融仲介機能をより一層発揮してまいります。

2025年4月17日、当金庫は創業100周年を迎えます。これに向かって当金庫のビジネスモデルである『信用金庫本来の姿であり続ける』ことを継続し、結果としてお客さまや地域社会から「良い金庫」と言っていただけるよう、その使命を果たすべく努力してまいります。

地域の皆さまには、今後ともより一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 経営理念

1. 『きたしん』は、地元に密着し、地域経済の発展に貢献します。
1. 『きたしん』は、お客さま一人ひとりの幸せを支えます。
1. 『きたしん』は、地域に貢献できる人づくりに努めます。

## 経営方針

1. 健全性・透明性の高い経営を追求します。
1. お客さまの立場で考え、質の高い金融サービスを提供します。
1. 役職員がお互いを尊重し、成長しあえる職場環境を築きます。

## 金庫概要

名 称 /	北おおさか信用金庫
英 語 標 記 /	The Kita Osaka Shinkin Bank
金融機関コード /	1645
理 事 長 /	須戸 裕治
本 店 所 在 地 /	〒567-8651 大阪府茨木市西駅前町9番32号
電 話 番 号 /	072-623-4981
常勤役職員数 /	987名
店 舗 数 /	65店舗
出 資 金 /	45億円
預 金 /	1兆5,087億円
貸 出 金 /	8,103億円

### ●CONTENTS●

- 1P ..... ごあいさつ
- 2P ..... 経営理念・経営方針・  
金庫概要・CONTENTS
- 3P ..... 事業の概要・業績ハイライト
- 4P ..... 預金・融資・業種別融資
- 5P～8P ..... 第99期業務報告
- 9P・10P ..... 貸借対照表・損益計算書
- 11P・12P ..... 主要な事業に関する事項
- 13P ..... 剰余金処分計算書・役員一覧
- 14P ..... 第98回・99回通常総代会・庶務事項
- 15P・16P ..... 2023年度トピックス
- 17P・18P ..... 店舗のご案内



## 事業の概要

### 預金

預金残高は、前年度末比175億06百万円の減少の1兆5,087億20百万円となりました。

### 融資

貸出金残高については、前年度末比50億61百万円減少の8,103億98百万円となりました。

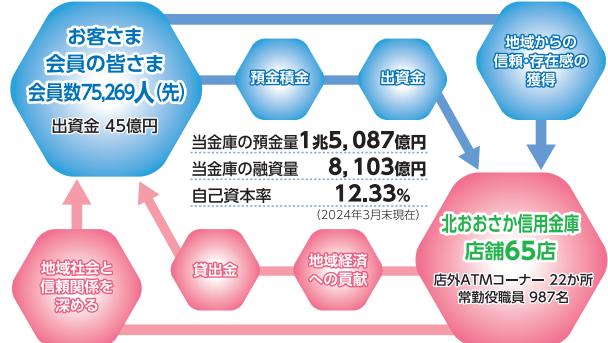
### 損益

業務純益40億89百万円、経常利益41億38百万円、当期純利益35億44百万円という結果になりました。

### 会員と出資金

期末会員数は75,269人(個人・法人)、出資金額45億35百万円となりました。

## 業績ハイライト

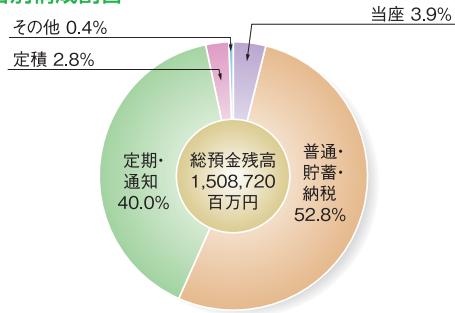


### 収益の状況



## 預 金

### 科目別構成割合

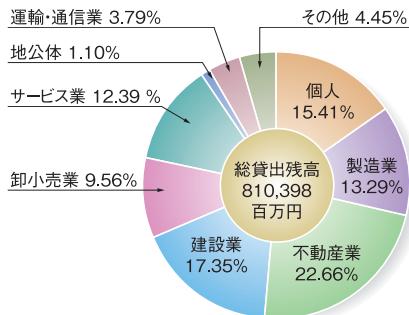


## 融 資

### 科目別構成割合



## 業種別融資



# 第99期（2023年4月1日から）業務報告

## 事業の概況

### 1.事業概況等

#### (1)2023年度事業方針

2023年度は、「きたしん3ヵ年計画～総合金融サービスによるメンバーシップバンキングを目指して～」の最終年度として、「地域・お客さまにとって役立つ金融機関」であるために、事業者の皆さまに対する資金繰り支援や個人のお客さまに対するライフスタイルに応じた提案など「お客さま一人ひとりに合った金融サービスの提供」に加え、マッチング・事業承継・M&Aをはじめとする「本業支援」など、地域支援活動に取り組んでまいりました。また、地域社会の一員として、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)達成のため、2019年度に策定した「SDGs宣言」と「SDGs基本方針」に基づき、地域社会の発展及び豊かな地域社会の実現に向け、地域金融機関としての使命を果たしてまいりました。

#### (2)金融経済環境

2023年度を振り返りますと、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置付けが、5類感染症に移行したことから、景気の自律的な循環を制約してきた要因が改善され、徐々に経済社会活動の正常化が進みました。インバウンド需要等、人の流れは回復しコロナ前の水準に戻りつつあります。一方で、ウクライナ情勢・中東情勢の緊迫化や中国の過剰債務問題の顕在化等、国際情勢は不安定さを強めており、景気の下振れリスクは依然として抱えたままとなっております。国内では、物価高・原材料価格の高騰は続いており、価格転嫁にも限界があり、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。金融指標に目を向けてみると、為替では米国との金利差等による円安の進行が続き、円安による日本株の割安感等を背景に、日経平均株価は値上がりを続けました。日経平均株価は2024年2月22日にバブル期の史上最高値38,915円87銭を34年ぶりに更新し、2024年3月4日には終値で初の4万円台を突破しました。そのような中、2024年3月19日に日本銀行は金融政策決定会合でマイナス金利政策の解除を決めました。マイナス金利政策の解除に踏み切ったことにより、今後の経済活動に及ぼす影響が注目されます。

#### (3)業績

2023年度の決算実績は次のとおりとなりました。

2022年度は豊中市の指定金融機関の当番にて公金による預金残高が増加しましたが、今年度は終了したこと等を要因に、前年度末比175億06百万円減少の1兆5,087億20百万円となりました。また、貸出金残高につきましては、コロナ禍での民間金融機関における実質無利子・無担保融資(通称ゼロゼロ融資)が、実質無利子期間である3年目を迎へ、返済が進んだことにより前年度末比50億61百万円減少の8,103億98百万円となりました。収益面では、貸出金利回りの低下が緩やかになったことを要因として、貸出金利息收入は前年度同程度を維持したことにより、業務純益は40億89百万円、経常利益は41億38百万円、当期純利益は35億44百万円という結果となりました。

#### (4)事業の展望及び信用金庫が対応すべき課題

依然として続くわが国の人口減少や少子高齢化の流れは、地域社会においても、消費低迷や人手不足等の構造的問題を深刻化しております。そのような状況において、信用金庫は地域の中小企業等に対し、適切な金融支援に引き続き取り組むとともに、経営改善・事業再生支援等や、地域社会が抱える課題の解決を

図っていくことが求められています。また、異業種との競争が激しくなっている中、デジタル技術の活用による新たなサービスの提供や、業務効率化を図ることも必要あります。このほか、マネー・ローンダリング対策や、サイバーセキュリティ対策の一層の強化等を通じて経営管理態勢を充実させることも重要であります。このような金融サービスにおける変化に対応し、持続可能な社会への貢献と地域経済の成長に取組む施策として、金融仲介機能をより一層発揮してまいります。2024年度は、新たに策定した「きたしん第4次中期経営計画」のスタート年度となります。2025年4月17日に迎える創立100周年に向かって、当金庫のビジネスモデルである「信用金庫本来の姿であり続ける」ことを継続し、結果としてお客さまや地域社会から『良い金庫』と言っていただけのよう、その使命を果たしていく所存あります。

#### (5)業務の適正を確保するための体制の整備状況の概要

当金庫では、理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制のほか、自らの業務の適正を確保するコーポレートガバナンスの充実に努め、これに必要な体制(内部統制システム)の整備について、その基本方針である「内部管理基本方針」を理事会において決議しております。

以下、当金庫の内部統制システム構築の基本方針は次のとおりであります。

①当金庫及びその子法人からなる集団(以下、「金庫グループ」という。)の役職員等の職務の執行が法令等及び定款に適合することを確保するための体制  
ア.金庫グループは、「信用金庫行動綱領」に基づき、法令等遵守の徹底を経

営の最重要課題の1つと位置づけ、「法令等遵守方針」及び「コンプライアンス憲章」並びに「法令等遵守規程」を定め、業務の健全性・適切性を確保しております。また、「信用金庫行動綱領」をグループ全体のコンプライアンスの考え方の根幹とし、これを子法人の役職員等にも周知しております。

イ.当金庫は、法令等遵守態勢を推進し、一元的に管理する「コンプライアンス統括担当部署」を設置しております。また、代表役員を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設置し、金庫グループの法令遵守態勢を推進・管理し、各部店・各子法人にコンプライアンス担当責任者を置き、指導・研修・報告を徹底しております。

ウ.当金庫は、金庫グループの役職員等がコンプライアンス違反等を知ったとき、又は疑義をいたいたときは、金庫グループの自浄作用を高め、不法行為等の早期発見と是正を図ることを目的として、所属部署の上司を介さず、直接コンプライアンス統括部署又は外部の弁護士に通報できる内部通報制度として、「ヘルpline」を設けております。

エ.金庫グループは反社会的勢力との関係を遮断し、当該勢力による被害を未然に防止するための体制を整備しております。また、国際社会がテロ等の脅威に直面している中で、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策の高度化を推進しています。

オ.当金庫の内部監査部署は、金庫グループの法令等遵守態勢の有効性及び適切性について監査を実施し、その結果を理事会、監事に報告するとともに、必要に応じて被監査部署及び統括・管理部署に問題ある事項の改善を提言し、その実施状況を検証しております。

②当金庫の理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

当金庫の理事の職務の執行に係る情報・文書の保存・管理は法令の定めによると、金庫内規程により適切に行っております。

③金庫グループの損失の危険の管理に関する規程その他の体制

ア.当金庫は「統合的リスク管理方針」を定め、金庫グループのリスク管理体制の強化を経営の重要な課題と位置づけ、金庫グループのリスクを一元的に管理する部署及びリスクカテゴリーごとの主管部署を定めて管理を行い、

業務遂行に関わる各種リスクを統合的に把握しております。また、適正なリスクの範囲内での業務運営を図るために、「統合的リスク管理規程」及びリスクカテゴリーごとに応じた規程を定めております。リスクを一元的に管理する部署は、金庫グループにおけるリスクの状況を定期的に又は必要に応じて理事会等に報告し、特に経営に重大な影響を与える事案については、速やかに理事会等に報告しております。

イ.当金庫の内部監査部署は、金庫グループのリスク管理態勢の適切性・有効性について監査し、その結果を理事会等に報告しております。

④金庫グループの役員の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

ア.当金庫は、毎月及び必要に応じて理事会を開催し、経営上の重要事項の意思決定を行っております。また、経営に関する重要な執行方針の協議機関として、常務会を設置し効率的な職務執行を実現しております。

イ.当金庫は子法人の業務運営方針や経営計画並びに職務執行が当金庫の業務運営方針、子法人等管理規程に準拠したものになっているかを子法人管理部門にて管理・検証し、必要に応じて理事会等に報告しております。

⑤金庫グループにおける業務の適正を確保するための体制

当金庫の子法人の取締役ほか業務を執行する職員等の職務の執行に係る事項の当金庫への報告に関する体制を整備しております。

ア.当金庫の代表理事は、当金庫の子法人の代表取締役から定期的に、当該子法人の取締役等の職務執行の状況のうち経営上の重要事項に関する報告を受けております。またグループ役員連絡会を定期的に開催し、経営上の課題等について協議するとともに、当該子法人の取締役等の職務執行の状況など経営上の重要事項に関する報告を義務付けております。各々当該報告を受けた代表理事は、その内容を必要に応じて理事会等に報告しております。

イ.当金庫の内部監査部門は、定期的又は必要があると認められるときは、当金庫の子法人への監査を行い、その結果は代表理事を通じ必要に応じて理事会等に報告しております。

⑥当金庫の監事がその職務を補助すべき職員を置くことを求めた場合における当該職員に関する事項、並びに当該職員の理事からの独立性に関する事項

当金庫の監事は、監査の実効性を高め、かつ監査業務を円滑に遂行するため、当該職務を補助する職員の配置を求めることがあります。この場合、職員に対する業務遂行上の指揮命令権は、監事に移譲されるものとし、理事の指揮命令を受けず独立性を確保するものとしております。

⑦金庫グループの役職員等が当金庫の監事への報告に関する体制

金庫グループの役職員は、必要に応じて金庫グループへのヘルpline等を利用して監事に報告し、信用金庫経営に重要な影響を及ぼす情報についても遅滞なく報告しております。

⑧その他当金庫の監事の監査が実効的に行われる事を確保するための体制

ア.当金庫の監事は、「監事会規程」及び「監事監査基準」に基づく理事との意思疎通、理事会その他重要な会議への出席、及び内部監査部署・会計監査人等との緊密な連携を通じ、監査の実効性を上げるよう努めております。監事は、これらの状況を把握するために重要書類の閲覧、又は提出・説明を求めることがあります。

イ.当金庫の監事が独自に意見形成するために、弁護士、公認会計士その他の専門家に依頼する体制を確保しています。また、これらの職務の遂行について生ずる費用の前払い、又は償還等の請求をしたときは、当該監事の職務の執行に必要でないと認められた場合を除き、速やかに当該費用又は債務を処理しております。

## 《ご参考》内部統制システムの運用状況の概要

当金庫では、上記基本方針に基づく内部統制システムの整備について、カテゴリーごとに各担当部署において定期的に点検し、その結果は常務会を通じ理事会に報告することにより、内部統制システムの整備と適切な運用に努めています。

当事業年度における基本方針に基づく運用状況の概要は次のとおりあります。

### (1)当金庫の役職員等の職務の執行が法令等及び定款に適合することを確保するための体制

理事会決議により策定されたコンプライアンス・プログラム等に基づき、コンプライアンス委員会を原則四半期に1回開催し(2023年度は18回開催)、コンプライアンス違反の発生状況、反社会的勢力等との取引の遮断などについて審議し、必要に応じて理事会等に報告しております。

主な内容は次のとおりであります。

①コンプライアンス態勢の把握及び評価、コンプライアンスに関する諸問題の検討及び評価

②コンプライアンス・マニュアル、コンプライアンス・プログラムの策定及び重要な見直しの検討

③マネーロンダリング及びテロ資金供与リスク管理強化

④不祥事件等の発生・発覚時における事件内容、コンプライアンス違反等の提起時における違反内容及びこれらの発生原因、再発防止策等の審議検討

⑤金庫が定める「個人情報保護基本規程」、「内部通報に関する規程」に定める対応・調査・措置

⑥新規商品販売、新規業務開始時のリーガル・チェック

⑦各部室及び各営業店のコンプライアンス担当責任者の任命

### (2)当金庫の理事の職務の執行が法令等及び定款に適合することを確保するための体制

定期理事会を16回、理事会の権限移譲による決定機関として設置する常務会を43回開催いたしました。

### (3)当金庫の損失の危険の管理に関する規程その他の体制

各種リスクの統括機関としてのALM委員会を22回開催し、うち統合的リスク管理について四半期ごとに理事会等に報告し、その他カテゴリー毎に担当部署の役員が理事会等に報告いたしました。

### (4)金庫グループにおける業務の適正を確保するための体制

グループ連絡会を2回開催し、業績等について常務会に報告した結果、当金庫のグループ内部統制に係る事項の充実・具体化が図られました。

また、子法人への業務監査を隔年で実施し、改善提案を行うとともに、理事会を通じ監事に報告しております。

### (5)当金庫の監事の監査が実効的に行われる事を確保するための体制

当金庫の監査担当部門は定期的に当金庫の監事と情報交換を行っており、また、監事はALM委員会、コンプライアンス委員会等各委員会へ出席し、監事の監査が実効的に行われる事を確保しております。

## 貸借対照表

第99期(2024年3月31日現在)

### 資産の部

科目	金額
現 金	10,099
預 け 金	363,383
買 入 金 錢 債 権	3,000
金 錢 の 信 託	4,346
有 価 証 券	383,544
国 債	61,749
地 方 債	51,043
社 債	203,819
株 式	11,082
そ の 他 の 証 券	55,847
貸 出 金	810,398
割 引 手 形	11,730
手 形 貸 付	42,208
証 書 貸 付	740,562
当 座 貸 越	15,897
外 国 為 替	343
外 国 他 店 預 け	235
取 立 外 国 為 替	107
そ の 他 資 産	11,280
未 決 済 為 替 貸	993
信 金 中 金 出 資 金	8,361
前 払 費 用	163
未 収 収 益	1,182
そ の 他 の 資 産	578
有 形 固 定 資 産	23,933
建 物	6,032
土 地	16,441
リ 一 ス 資 産	10
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	1,449
無 形 固 定 資 産	525
ソ フ ト ウ エ ア	421
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	104
繰 延 税 金 資 産	1,886
債 务 保 証 見 返	1,640
貸 倒 引 当 金	△ 8,045
(うち個別貸倒引当金)	(△ 6,065)
資 産 の 部 合 計	1,606,337

### 負債の部

科目	金額
預 金 積 金	1,508,720
当 座 預 金	59,497
普 通 預 金	794,525
貯 蓄 預 金	2,231
通 知 預 金	616
定 期 預 金	602,269
定 期 積 金	42,968
そ の 他 の 預 金	6,610
借 用 金	2,766
コ ー ル マ ネ ー	60
そ の 他 負 債	3,511
未 決 済 為 替 借	1,307
未 払 費 用	599
給 付 補 填 備 金	32
未 払 法 人 税 等	254
前 受 収 益	414
金 融 派 生 商 品	3
リ 一 ス 債 務	10
資 産 除 去 債 務	117
そ の 他 の 負 債	772
賞 与 引 当 金	403
退 職 給 付 引 当 金	453
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金	255
偶 発 損 失 引 当 金	851
睡 眠 預 金 扱 戻 損 失 引 当 金	128
再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	2,262
債 務 保 証	1,640
負 債 の 部 合 計	1,521,053
純資産の部	
出 資 金	4,535
普 通 出 資 金	4,535
利 益 剰 余 金	74,577
利 益 準 備 金	5,461
そ の 他 利 益 剰 余 金	69,115
特 別 積 立 金	37,882
(うち 経 常 安 定 積 立 金)	(9,300)
(うち 固 定 資 産 累 積 積 立 金)	(59)
当 期 未 処 分 剰 余 金	31,233
処 分 未 満 持 分	△ 169
会 員 勘 定 合 計	78,944
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	3,303
土 地 再 評 価 差 額 金	3,035
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	6,339
純 資 産 の 部 合 計	85,283
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	1,606,337

## 損益計算書

第99期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

科目	金額
経 常 収 益	20,281,502
資 金 運 用 収 益	16,350,577
貸 出 金 利 息	12,735,679
預 け 金 利 息	364,270
コ ー ル ロ ン 利 息	2,828
有 価 証 券 利 息 配 当 金	3,064,993
そ の 他 の 受 入 利 息	182,805
役 務 取 引 等 収 益	2,041,065
受 入 為 替 手 数 料	859,659
そ の 他 の 役 務 収 益	1,181,406
そ の 他 業 務 収 益	242,756
外 国 為 替 売 買 益	49,028
國 債 等 債 券 売 却 益	101,334
そ の 他 の 業 務 収 益	92,392
そ の 他 経 常 収 益	1,647,103
償 却 債 債 取 立 益	1,006,708
株 式 等 売 却 損	468,473
金 錢 の 信 託 運 用 損	10,416
そ の 他 の 経 常 収 益	161,505
経 常 費 用	16,142,920
資 金 調 達 費 用	567,401
預 金 利 息	527,674
給 付 補 填 備 金 繰 入 額	17,311
借 用 金 利 息	18,107
コ ー ル マ ネ ー 利 息	2,567
そ の 他 の 支 払 利 息	1,740
役 務 取 引 等 費 用	1,118,191
支 払 為 替 手 数 料	183,422
そ の 他 の 役 務 費 用	934,769
税引前当期純利益	
法人税、住民税及び事業税	579,434
法 人 税 等 調 整 額	176,850
法 人 税 等 合 計	756,285
当 期 純 利 益	3,544,547
繰 越 金 (当 期 首 残 高)	27,636,868
土 地 再 評 価 差 額 金 取 崩 額	52,043
当 期 未 处 分 剰 余 金	31,233,460

(注)

1.記載金額は、円未満を切り捨てて表示しております。

2.子会社との取引による費用総額 211,200千円

3.出資1口当たり当期純利益金額 39円99銭

4.当期において、以下の資産について減損損失を計上しております。

主な用途(種類)	地 域	減損損失額(千円)
営業用資産1ヶ所(事業用不動産)	吹田市	35,343

# 主要な事業に関する事項

## ■ 主要な事業の状況を示す指標

(単位：百万円)

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
利益	経常収益	18,684	19,283	19,342	19,055
	業務純益	2,649	3,339	3,595	4,085
	経常利益	2,087	2,691	2,514	3,273
	当期純利益	1,703	2,109	2,577	2,743
残高	純資産額	73,876	80,404	80,155	78,114
	総資産額	1,430,068	1,643,826	1,732,900	1,620,509
	預金積金残高	1,340,576	1,478,212	1,539,602	1,526,226
	貸出金残高	687,383	783,623	804,431	815,459
出資	有価証券残高	321,983	378,611	385,530	381,402
	出資総額	4,865	4,778	4,721	4,617
	出資総口数(千口数)	97,310	95,573	94,424	92,347
	会員数(人)	81,215	80,420	79,540	77,379
役職員	出資に対する配当金(円)	1.0	1.0	1.0	1.0
	出資配当率	2%	2%	2%	2%
	役員数(人)	20	16	17	17
	うち常勤役員数(人)	17	13	14	13
役職員	職員数(人)	1,054	1,039	1,042	1,016
	うち男性(人)	651	627	619	594
	うち女性(人)	403	412	423	422
	平均年齢(才)	40.1	40.7	41.4	42.1
単体自己資本比率(%)	平均勤続年数(年)	17.0	17.5	18.0	18.6
	単体自己資本比率(%)	10.57	11.62	11.73	12.08

## 業務粗利益及び業務粗利益率

(単位：百万円)

項目	2022年度	2023年度
業務粗利益	16,523	16,348
資金運用収支	15,460	15,784
資金運用収益	16,021	16,350
資金調達費用	561	566
役務取引等収支	871	922
役務取引等収益	2,006	2,041
役務取引等費用	1,135	1,118
その他業務収支	191	△358
その他業務収益	262	242
その他業務費用	71	601
業務粗利益率(%)	0.98	1.01

※業務粗利益率=業務粗利益／資金運用勘定平均残高×100

## ■ 業務純益

(単位：百万円)

	2022年度	2023年度
業務純益	4,085	4,089
実質業務純益	4,242	3,811
コア業務純益	4,146	4,309
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く。)	3,882	3,768

(注) 1. 業務純益=業務収益－業務費用－金銭の信託運用見合費用

2. 実質業務純益=業務純益－一般貸倒引当金繰入額

3. コア業務純益=実質業務純益－国債等債券損益

## 資金運用・調達勘定平均残高、利息、利回り

(単位：百万円)

項目	平均残高		利息		利回り	
	2022年度	2023年度	2022年度	2023年度	2022年度	2023年度
資金運用勘定	1,672,893	1,611,865	16,021	16,350	0.95	1.01
うち貸出金	810,782	811,538	12,749	12,735	1.57	1.56
うち預け金	462,713	407,050	357	364	0.07	0.08
うちコールローン	159	65	3	2	2.06	4.29
うち有価証券	389,987	384,107	2,728	3,064	0.69	0.79
資金調達勘定	1,626,504	1,560,134	561	566	0.03	0.03
うち預金積金	1,581,441	1,560,359	533	544	0.03	0.03
うち借入金	47,277	3,457	20	18	0.04	0.52
うちコールマネー	193	42	6	2	3.2	5.99

※資金運用勘定は無利息預け金の平均残高(2022年度4,671百万円、2023年度4,286百万円)を、  
資金調達勘定は金銭の信託運用見合額の平均残高(2022年度2,408百万円、2023年度3,726百万円)及び  
利息(2022年度0百万円、2023年度1百万円)をそれぞれ控除して表示しております。

## 語句解説

①【役務取引の状況】

振込等のサービスに係わる収益と費用です。

②【資金運用・調達勘定平均残高、利息、利回り】

融資金や保有している国債等からの受取利息及び預金積金の支払い利息等です。

## 剰余金処分計算書

第99期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

単位:円

科 目	金 額
当 期 末 処 分 剰 余 金	31,233,460,035

剰 余 金 処 分 額	88,025,111
普通出資に対する配当金	(年2%) 88,025,111
繰 越 金 (当 期 末 残 高)	31,145,434,924

2024年 6月

## 北おおさか信用金庫

*1 理 事 長 須 戸 裕 治	常務理事 久保田全彦	常勤理事 池 田 正 和
*1 副理事長 河本 良 昭	常勤理事 佐 藤 武	常勤理事 前 山 寿 雄
*1 専務理事 井 上 博 祇	*2 常勤理事 中 嵐 久 光	*2 非常勤理事 加 藤 芳 岐
*1 専務理事 牛 田 隆 己	常勤理事 藤 原 忠	*2 非常勤理事 水 野 浩 児
常務理事 塩 田 聖	常勤理事 高 岸 功	

常勤監事 笠 井 規 史      非常勤監事 田 邊 淳 一  
\*3 非常勤監事 林 周 三

\*1 代表権を有する役員

\*2 信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。

\*3 信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

なお、第99期の貸借対照表、損益計算書並びにその附属明細書については、信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、有限責任監査法人トーマツの監査を受け、適正である旨の監査報告書をいただいております。

## 総代会

### ◆ 第98回通常総代会 ◆

2023年6月22日、ホテル阪急インターナショナルにおいて、第98回通常総代会を開催し、下記議案を付議し原案通り承認決議されました。

報告事項 第98期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)業務報告、貸借対照表及び損益計算書内容報告の件

#### 決議事項

- |         |  |
|---------|--|
| 第 1 号議案 | 第98期剰余金処分案承認の件                                     |
| 第 2 号議案 | 会員除名の件   |
| 第 3 号議案 | 定款一部変更の件<br>総代の選任区域及び定数の一部変更について<br>(近畿財務局長の認可を条件) |
| 第 4 号議案 | 総代候補者選考委員選任の件                                      |
| 第 5 号議案 | 退任理事に対する<br>退職慰労金贈呈の件                              |

### ◆ 第99回通常総代会 ◆

2024年6月25日、ホテル阪急インターナショナルにおいて、第99回通常総代会を開催し、下記議案を付議し原案通り承認決議されました。

報告事項 第99期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)業務報告、貸借対照表及び損益計算書内容報告の件

#### 決議事項

- |         |                             |
|---------|-----------------------------|
| 第 1 号議案 | 第99期剰余金処分案承認の件              |
| 第 2 号議案 | 会員除名の件                      |
| 第 3 号議案 | 理事改選の件                      |
| 第 4 号議案 | 監事改選の件                      |
| 第 5 号議案 | 退任理事及び退任監事に対する<br>退職慰労金贈呈の件 |

## 庶務事項

2023年 4月 1日 出資口数並びに総額の変更登記

# 2023年度トピックス



きたしんくん

4月

きたしん経済講演会



5月

きたしん総研副業  
人材活用セミナー



6月

第98回通常総代会



8月

なにわ淀川花火大会  
当金庫職員  
ボランティア参加



8月

第54回 高槻まつり  
当金庫「踊り連」が参加



9月

すいたフェスティバルに  
「きたしんくん」登場



10月

経営者特別講演会  
2023



11月

茨木市文化・子育て複合施設  
おにクリル ネーミングライツ  
契約締結式



12月

第15回大阪府下  
メインバンク調査による  
「大阪北地区」で7年連続第1位

項目	金融機関名	2022年度	2023年度	社内 満足度	満足度
1.(1)	北大阪ひがし農業	2,110	2,073	63	55%
2.(2)	三井住友	1,950	14.9%	1,045	14.7%
3.(3)	三越FGJ	1,798	13.7%	1,773	13.4%
4.(4)	りそな	1,354	10.4%	1,369	10.3%
5.(5)	みずほ	1,250	10.3%	1,250	10.2%
6.(6)	関西FGJ	1,199	9.2%	1,195	9.0%
7.(7)	尼崎信金	494	9.8%	497	9.8%
8.(8)	みずほ	442	3.4%	449	3.4%
9.(9)	伊藤	275	2.1%	293	2.2%
10.(10)	信託銀行	218	1.6%	226	1.7%

1月

新年交礼会



1月

新春経営者セミナー



3月

淀川マラソン&  
ウォーク2024





店舗名	住所	電話番号
本 部	〒567-8651 茨木市西駅前町9-32	072-623-4981
本 店 営 業 部	〒567-0032 茨木市西駅前町9-32	072-625-1221
十三営業部・十三営業部本出張所	〒532-0024 大阪市淀川区十三本町1-6-4	06-6301-0031
淡 路 支 店	〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路4-19-7	06-6322-9841
三 国 支 店	〒532-0005 大阪市淀川区三国本町2-12-8	06-6394-1301
九 条 支 店	〒550-0023 大阪市西区千代崎2-8-10	06-6581-7378
野 田 支 店	〒553-0006 大阪市福島区吉野2-8-6	06-6441-3896
長 居 支 店	〒558-0003 大阪市住吉区長居4-1-26	06-6693-5571
十 三 東 支 店	〒532-0023 大阪市淀川区十三東3-27-17	06-6301-5851
茨 木 支 店	〒567-0882 茨木市元町7-2	072-624-2285
歌 島 橋 支 店	〒555-0013 大阪市西淀川区千舟2-6-27	06-6471-9741
尼崎支店・尼崎西支店	〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江2-24-18	06-6499-4551
茨 木 東 支 店	〒567-0829 茨木市双葉町2-28	072-632-6685
千里中央支店・新千里南支店	〒560-0083 豊中市新千里西町1-1-8 第一火災千里中央ビル1階	06-6872-1021
十三高 榻 支 店	〒569-0083 高槺市永楽町1-13	072-671-8131
十三守口支店	〒570-0015 守口市梶町4-16-13	06-6904-3851
立 花 支 店	〒661-0025 兵庫県尼崎市立花町1-14-26	06-6427-6556
江坂駅前支店	〒564-0051 吹田市豊津町14-15	06-6386-3361
小 松 支 店	〒533-0004 大阪市東淀川区小松4-12-32	06-6326-0226
新大阪駅前支店	〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-7-32	06-6308-4703
伊 丹 支 店	〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-5-12アリオⅠの1階	072-784-7613
此 花 支 店	〒554-0022 大阪市此花区春日出中1-26-13	06-6462-2001
吹 田 支 店	〒564-0026 吹田市高浜町9-4	06-6381-4321
高 榻 支 店	〒569-0802 高槺市北園町19-20	072-685-1141
千 里 丘 支 店	〒566-0001 摂津市千里丘2-13-19	06-6388-1441
豊 津 支 店	〒564-0062 吹田市垂水町2-2-37-101	06-6384-1462
東 淀 川 支 店	〒532-0002 大阪市淀川区東三国1-19-12	06-6392-4571
片 山 支 店	〒564-0082 吹田市片山町3-16-19	06-6387-3441
富 田 支 店	〒569-0814 高槺市富田町3-2-30	072-696-7761
芥 川 支 店	〒569-1123 高槺市芥川町2-7-1	072-681-1871
島 本 支 店	〒618-0014 大阪府三島郡島本町水無瀬2-4-3	075-961-4101

		2023年5月末日現在
正 雀 支 店	〒566-0024 摂津市正雀本町1-33-12	06-6381-4481
総 持 寺 支 店	〒567-0803 茨木市中総持寺町6-23	072-633-1351
川 添 支 店	〒569-0824 高槺市川添2-20-9	072-694-2525
豊 里 大 橋 支 店	〒533-0013 大阪市東淀川区豊里5-19-18	06-6320-1521
深 泽 支 店	〒569-0035 高槺市深沢町1-27-16	072-673-6030
城 南 支 店	〒569-0056 高槺市城南町2-4-6	072-673-1821
津 之 江 支 店	〒569-0822 高槺市津之江町1-10-16	072-671-6111
清 水 支 店	〒569-1027 高槺市蒲堂2-34-12	072-687-0751
鳥 飼 支 店	〒566-0054 摂津市鳥飼八防1-8-7	072-654-4600
阿 武 山 支 店	〒569-1044 高槺市上土室5-21-29	072-695-0251
玉 櫛 支 店	〒567-0895 茨木市玉櫛2-27-5	072-636-5566
三 津 屋 支 店	〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北1-13-15	06-6309-0331
石 橋 支 店	〒563-0032 池田市石橋1-8-6	072-761-1421
福 井 支 店	〒567-0063 茨木市中河原町5-8	072-640-1122
豊 中 支 店	〒561-0885 豊中市岡町1番1号きたしん豊中ビル1階	06-6853-6060
本 町 支 店	〒560-0021 豊中市本町1-9-10-101マストメンツ豊中1階	06-6854-1321
庄 内 支 店	〒561-0831 豊中市庄内東町4-3-1	06-6333-8661
螢 池 支 店	〒560-0032 豊中市螢池東町1-6-1	06-6841-3000
服 部 支 店	〒561-0851 豊中市服部元町1-8-20	06-6863-6727
神 崎 川 支 店	〒561-0824 豊中市大島町2-1-8	06-6333-8481
箕 面 東 支 店	〒562-0033 箕面市今宮3-1-17	072-729-2931
梅 田 支 店	〒530-0014 大阪市北区鶴野町4-19	06-6371-6651
庄 内 西 支 店	〒561-0833 豊中市庄内幸町2-13-8	06-6334-1211
箕 面 中 央 支 店	〒562-0001 箕面市箕面6-5-13	072-722-0335
桜 井 谷 支 店	〒560-0052 豊中市春日町4-1-7	06-6844-1351
赤 川 町 支 店	〒535-0005 大阪市旭区赤川2-2-26	06-6921-3571
城 東 支 店	〒536-0007 大阪市城東区成育2-12-17	06-6932-1181
船 場 支 店	〒541-0053 大阪市中央区本町3-5-7 御堂筋本町ビル11階	06-6261-8446
守 口 支 店	〒570-0034 守口市西郷通2-15-21	06-6996-9501
寝 屋 川 支 店	〒572-0057 寝屋川市黒原旭町15-1	072-828-8021
門 真 支 店・古川橋支店	〒571-0012 門真市江端町38-17	072-885-1251

**The Kita Osaka Shinkin Bank**

<https://www.kitaosaka-shinkin.co.jp/>

